

## 「20世紀の人間像」 展示作品リスト

### 番号 1 アポロンの頭、台座付

制作年 1900-1909年 技法材質 ブロンズに鍍金 寸法 67.0×25.0×29.5

作家名 エミール＝アントワヌ・ブールデル (1861-1929)

フランス生まれ。ロダンに師事し、助手として働く。ロダン、マイヨールとならび近代彫刻史を代表する作家。

### 番号 2 台所の母子

制作年 1911年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 119.0×95.0

作家名 アルベール・グレーズ (1881-1953)

フランス生まれ。はじめ印象派風の作品を、後にキュビズム (立体派) に移行。叙情性に富んだ抽象絵画も描く。

### 番号 3 下着の裸婦

制作年 1926年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 92.0×73.0

作家名 ジュール・パスキン (1885-1930)

ブルガリア生まれ。エコール・ド・パリ (モディリアアーニやシャガール、藤田嗣治など) を代表する作家の一人。

### 番号 4 キキ・ド・モンパルナスのマスク

制作年 1928年 技法材質 ブロンズ 寸法 20.5×18.0×15.7

作家名 パブロ・ガルガーリョ (1881-1934)

スペイン生まれ。パリでピカソやキュビズムの作家たちと生活をともにし、金属彫刻に新しい道を開く。

### 番号 5 二人

制作年 1930年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 162.4×145.7

作家名 伊原宇三郎・いはらうさぶろう (1894-1976)

徳島生まれ。ドランや新古典主義時代のピカソを思わせるボリュームのある裸婦で知られる。

### 番号 6 婦人像

制作年 1937年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 72.8×60.6

作家名 林武・はやしたけし (1896-1975)

東京生まれ。1934年渡欧後、セザンヌやフォービズム (野獣派)、キュビズムの影響を示す独自の様式を確立。

### 番号 7 ドラ・マールの肖像

制作年 1937年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 55.0×38.0

作家名 パブロ・ピカソ (1881-1973)

スペイン生まれ。ドラ・マールはピカソの恋人。複数の視点から見た容貌を、キュビズムで表現した独特の肖像画。

### 番号 8 少女の顔

制作年 1949年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 53.0×45.0

作家名 瑛九・えいきゅう (1911-1960)

宮崎生まれ。本名杉田秀夫。『みづゑ』『アトリエ』等の美術評論でも知られる作家。

### 番号 9 女性立像

制作年 1952年 技法材質 ブロンズ 寸法 49.0×9.5×17.0

作家名 アルベルト・ジャコメッティ (1901-1966)

スイス生まれ。キュビズムやシュールレアリスム (超現実主義) を経て、細く、鋭く削られた人間像の表現に到達。

### 番号 10 熱血漢

制作年 1955年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 65.0×50.5

作家名 ジャン・デュビュッフエ (1901-1985)

フランス生まれ。民芸や子供の絵を取入れ、伝統や既存の概念による制約から逃れたい生 (なま) の絵画を描いた。

- 
- 番号 11** **書きものをする娘**
- 制作年 1957年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 100.0×72.7  
作家名 大沢昌助・おおさわしょうすけ (1903-1997)  
東京生まれ。戦前は絵本挿絵を手がけ、1950年代後半から作風は抽象化、単純化された色面による表現を展開。
- 
- 番号 12** **トルソI (ユリシーズ)**
- 制作年 1958年 技法材質 ブロンズ 寸法 高さ131.0  
作家名 バーバラ・ヘップワース (1903-1975)  
イギリス生まれ。ロンドンで学んだ後、イタリアへ留学。1930年代初頭から抽象彫刻を作成した。
- 
- 番号 13** **昔の顔**
- 制作年 1958年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 100.0×80.3  
作家名 山口薫・やまぐちかおる (1907-1968)  
群馬生まれ。菱形や円形の抽象図像を用いた多彩な色面構成により独自の幻想性を帯びた世界を展開した。
- 
- 番号 14** **ブラインドを降ろす男**
- 制作年 1959年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 99.2×73.3  
作家名 鳥海青児・ちょうかいせいじ (1902-1972)  
神奈川生まれ。本名正夫。独特のマティエール (材質感) で知られる。
- 
- 番号 15** **裸のランチ**
- 制作年 1965年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 185.2×270.8  
作家名 宇佐美圭司・うさみけいじ (1940- )  
大阪生まれ。『ライフ』誌掲載の写真から、システムティックなイメージを生み出し、それを基本的主題とした作品を制作した。
- 
- 番号 16** **生命体**
- 制作年 1970年 技法材質 油彩、エナメル系塗料 キャンバス 寸法 91.0×73.0  
作家名 難波田龍起・なんばたつおき (1905-1997)  
北海道生まれ。高村光太郎を知り、芸術上の影響を受ける。戦後、抽象表現主義的作風へ移行した作品を描いた。
- 
- 番号 17** **孤独な詩人**
- 制作年 1970年 技法材質 ブロンズ 寸法 52.0×30.0×21.0  
作家名 ジョルジオ・デ・キリコ (1888-1978)  
イタリア生まれ。非現実的な物の奇妙な配置により夢を現実化。シュールレアリスムの先駆者としての評価も高い。
- 
- 番号 18** **蒼空のある自画像**
- 制作年 1977年 技法材質 顔彩 キャンバス 寸法 194.3×259.5  
作家名 絹谷幸二・きぬたにこうじ (1943- )  
奈良生まれ。ヴェネツィアで「アフレスコ」画法を研究。漆喰が乾くまでの短時間に色をさす素早い描写法が特色。
- 
- 番号 19** **回顧作品その2ーピンポン・ルーム, 1960ー**
- 制作年 1986年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 206.6×234.0  
作家名 アンソニー・グリーン (1939- )  
イギリス生まれ。変形キャンバスを用いて造形した複雑な空間に、作家自身の私的な生活を細密な筆致で描き出す。
- 
- 番号 20** **マルタ/フィンガーペインティング**
- 制作年 1986年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 61.2×51.2  
作家名 チャック・クロース (1940- )  
アメリカ生まれ。抽象表現主義作風から出発、巨大な写真そっくりの人物像を描いた。

**番号 21 モニカと透明なカーテン**

---

制作年 1987年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 149.0×224.0

作家名 トム・ウェッセルマン (1931-2004)

アメリカ生まれ。描く形態に合わせた変形キャンバスを用いたり、コンピュータとレーザーの技術を用いた、ステール・ドローイングの作品を制作する。

**番号 22 しのめ**

---

制作年 1955年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 149.0×224.0

作家名 井上長三郎・いのうえちょうざぶろう (1906-1995)

兵庫生まれ。戦後、自由美術家協会に参加、中心的作家として活躍。独特の社会風刺と情感を削除した画風で知られる。

**番号 23 鳩のように**

---

制作年 1955年 技法材質 油彩 板 寸法 61.0×50.0

作家名 マックス・エルンスト (1891-1976)

ドイツ生まれ。キュビズム (立体派) や未来派の影響を受けたあと、ケルンのダダ・グループを結成。後にパリへ移り、シュールレアリスム (超現実主義) の代表的画家として知られる。

**番号 24 無人間時代をこえる人間の象徴(オートメーション)**

---

制作年 1955年 技法材質 油彩 板 寸法 232.2×183.3

作家名 薺嘔・あいおう (1931-)

茨城生まれ。自由な実験精神と鋭い文明批判を背景に、事物や人間像に虹のスペクトルをかける独自の世界を展開。

**番号 25 家族**

---

制作年 1959年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 130.3×162.0

作家名 麻生三郎・あそうさぶろう (1913-2000)

東京生まれ。焼けただれ焦げついたようなマティエールの、暗褐色に塗り重ねられた色面のなかに、家族の姿や自己の内面世界を浮かび上がらせる作風で知られる。

**番号 26 よだれ**

---

制作年 1966年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 53.0×45.5

作家名 横尾忠則・よこおただのり (1936-)

兵庫生まれ。グラフィックデザイナーとして活躍後、画家に転向。激しい筆致と色彩の表現主義的作風を展開。

**番号 27 影の自画像**

---

制作年 1964年 技法材質 ラッカー キャンバス 寸法 65.1×53.2

作家名 高松次郎・たかまつじろう (1936-1998)

東京生まれ。既成の表現形式に捉われない概念芸術の領域を開拓、1960年代以降を代表する作家の一人。

**番号 28 ヴァン・ゴッホの像**

---

制作年 1967年 技法材質 アクリル絵具 キャンバス 寸法 162.1×130.3

作家名 岡本信治郎・おかもとしんじろう (1933-)

東京生まれ。新印象派のスーラの作品に出会い、現代の病理を明るい色彩と単純な形態で表現する発想を得る。

**番号 29 父はは**

---

制作年 1972年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 73.0×91.3

作家名 山下菊二・やましたきくじ (1919-1986)

徳島生まれ。戦争体験から政治的関心を深め、シュール風の怪奇性と表現主義的な要素が入混った作品を描いた。

**番号 30 降りていく人**

---

制作年 1973-1976年 技法材質 アルミニウム 寸法 44.1×11.5×21.5

作家名 ケネス・アーミテジ (1916-2002)

イギリス生まれ。ヘンリー・ムーアの影響を受けながら、幾何学的なデフォルメを加えた生氣ある人体表現を行う。

<b>番号 31</b>	<b>我々はこちらにいる</b>
制作年	1974年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 130.2×97.6
作家名	ヴィフレド・ラム (1902 - 1982 ) キューバ生まれ。ピカソに強い感銘を受けアカデミックな表現から離れ、パリでシュールレアリスム運動に参加。魔術や呪術に関心を示した、シュールレアリスム後期を代表する作家の一人と目される。
<b>番号 32</b>	<b>燃える顔</b>
制作年	1975年 技法材質 鉄 真鍮 木 寸法 18.80×15.8×4.3
作家名	菊畑茂久馬・きくはたもくま (1935- ) 徳島生まれ。日常的な事物を用い、「立体的なもの」を寄せ集め、積み上げ、貼り付け、結び付けるなどの方法により作品を作り上げる技法、アッサンブラージュによる構成的な作品で、土俗的、通俗的世界を表現した。
<b>番号 33</b>	<b>遺伝染色体の雨の中で啓示を待つ</b>
制作年	1979年 技法材質 ミクスト・メディア 寸法 43.0×39.0×30.0
作家名	工藤哲巳・くどうてつみ(1935-1990) 青森生まれ。解体された人体各部の奇怪な様相により、現代人の既成観念に強烈な衝撃を与える作品で知られる。
<b>番号 34</b>	<b>多色による4つのマリリン</b>
作品名	制作年 1979-1986年 技法材質 アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス 寸法 92.0×70.8
作家名	アンディ・ウォーホル (1928 -1987 ) アメリカ生まれ。漫画の主人公や映画俳優、スープ缶といった大衆的イメージを用いたシルクスクリーンの作品を発表。膨大な量のイメージを消費する大衆社会の状況そのものを描いて見せた、戦後最も重要な芸術家の一人。
<b>番号 35</b>	<b>海と結ばれるカップル</b>
制作年	1983年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 67.4×47.4
作家名	マッタ (1911-2002) チリ生まれ。はじめ建築を学び、後に絵画に進み、シュールリアリストたちと親交を持った。既成概念や理性にとらわれることなく、無意識のうちに創造活動を行うオートマティスムの手法で制作した作品で知られる。
<b>番号 36</b>	<b>情報過多の人間</b>
制作年	1984年 技法材質 ブロンズ 寸法 33.0×13.0×11.0
作家名	浜田知明・はまだちめい(1917- ) 熊本生まれ。駒井哲郎らの日本銅版画家協会創立に参加。戦争、政治、社会への痛烈な批判と、鋭い風刺精神に裏付けられた作品を制作。
<b>番号 37</b>	<b>バミューダ島で制作する三木富雄組</b>
制作年	1987年 技法材質 油彩 キャンバス 寸法 202.2×168.1
作家名	篠原有司男・しのはらうしお(1952- ) 東京生まれ。廃物彫刻やボクシングペインティングで行為(アクション)の意味を強調。ポップ・アートへ傾斜、イミテーション・アートを発表。反芸術志向と表現主義的な表現とが結合した強烈な作風で知られる。
<b>番号 38</b>	<b>UNTITLED(BROKEN TREASURE)</b>
制作年	1995年 技法材質 アクリル絵具 綿布 寸法 150.0×150.0
作家名	奈良美智・ならよしとも (1959 - ) 青森生まれ。ドイツのデュッセルドルフ芸術アカデミー留学。無垢(けがれがない)で無邪気な中に、孤独で悪魔的な部分を持ち合わせる独特の人物や動物を描く。
<b>番号 39</b>	<b>The Little Pilgrims(Night Walking)</b>
制作年	1999年 技法材質 アクリル絵具、FRP、綿布 寸法 5体組 各72.0×50.0×42.5
作家名	奈良美智・ならよしとも (1959- ) 1980年代半ばから木彫を手がけ、1994年からはFRP(繊維強化プラスチック)を使い、夢見るような表情の人物を、三次元世界において構成している。